

【イギリス】



レポーター  
モリス 未央子 さん  
(もりす みおこ)

## 英・ウェールズで暮らす

……震災チャリティーウォークで日本を応援……

日本に留学していたウェールズ人の夫と結婚し、ウェールズの首都カーディフでの生活を2007年秋から始めました。翌年の3月長女を出産し、育児に専念する毎日でしたが、去年の夏から現地のJohn Lewisというパートで働いています。

このたび、美しい故郷、日本が大震災によってあまりにも広い地域にわたって被災し、ただただ胸の痛む毎日を送っています。私自身、大学時代に阪神淡路大震災を経験したので、今回のニュースを見ながら様々なことを思いました。そして、遠いウェールズからでも何かできないかと思い、まず職場で社員対象の募金箱を設置しました。

さらに今、社員対象の「ジャパン・デー」なるチャリティーイベントを企画中です。その日は、社員食堂のシェフの協力のもとメニューをすべて日本食にしたり、書道レッスンを開催してイベントを盛り上げる予定です。



▲見よう見まねで「ラジオ体操」

このような形でも、英国在住の日本人や英国人の思いが少しでも被災地に届き、一日でも早い復興の役に立つことを祈っています。

ところで、今回のチャリティーウォークの余興として、「ラジオ体操」を参加者全員でしました。「ラジオ体操」を全く知らない英国人の反応はいかにと見ていると、皆さん見よう見まねで一生懸命体を動かし、会社でもその後話題になっています。日本から遠く離れたウェールズの公園で、日本人、英国人と一緒にした久しぶりの「ラジオ体操」に、何とも言えない感慨を覚えました。

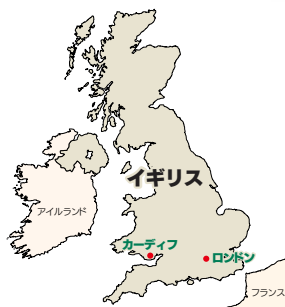
今後も生活の拠点はこちらになりそうですが、一年に一回は必ず、家族で日本に帰国するつもりです。娘も3歳になり、日本語、ウェールズ語、英語を使い分けて話す姿に我が子ながら感心しています。今後も日本人としてこちらで社会活動をしながら、母として母国の文化や言葉を伝えられるような子育てをしていきたいと思っています。

(文・写真提供:モリス未央子)

チャリティーウォーク参加者  
総勢60名!



▲みんな笑顔で参加してくれました



その後ももっと大規模な募金活動ができないかと上司に相談し、色々思案の結果、社員や近隣の一般の方々を対象に、チャリティー10キロウォークを開催することとなりました。参加者は、子供から大人まで、日本人と英国人を中心に約60名。当日は、遠征中だったラグビー日本代表ユースチームの方々総勢40名が噂を聞きつけ、応援に来てくれました。この日集まった募金(社員の参加費、一般の方々からの募金、スポンサー料)総額約1,400ポンドは、すべて英国赤十字の日本地震基金に寄付しました。